

殿様は笑ってはいけない！

## 布施神社のお田植祭



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	ふせじんじゃのおたうえさい
所在地	鏡野町富西谷
指定年月日	昭和37年4月24日
解説	毎年5月5日に布施神社の境内で行われる豊年祈願の行事である。境内を浄める獅子練りの後、「荒起こし」「しろかき」「くめじろ」「田植え」の神事が練り広げられ、最後に殿様と福太郎が登場して滑稽な諸作を演じる。殿様と福太郎が様々な掛け合いが練り広げられ、見物人は笑いに包まれるが、殿様は決して笑わない。殿様が笑うとその年は不作になるといわれる。
アクセス方法	米子自動車道久世ICから車で約25分
公開状況	5月5日、布施神社境内
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	布施神社のお田植祭
よみかた	ふせじんじゃのおたうえさい
しょざいち (所在地)	鏡野町富西谷
していしたひ (指定した日)	昭和37年4月24日
せつめい	布施神社(ふせじんじゃ)で当番(とうばん)になった地区(ちく)の人たちで行われます。まず獅子舞(ししまい)から始まり、そのあと、昔ながらの農作業(のうさぎょう)をもとにした行事(ぎょうじ)が行われます。最後(さいご)に福太郎(ふくたろう)という人と、殿(との)さまが出てきます。福太郎はご飯(はん)を食べないお殿さまに何とかご飯を食べさせようとしします。そのすがたがとてもおかしくて、見物人(けんぶつにん)から大きな笑(わら)いが出ます。しかし、殿さまが笑うと、その年は不作(ふさく)になるといわれているため、殿さまはがまんしなければなりません。その後、殿さまは山の神さまとなって、農民(のうみん)に幸(しあわ)せを与えると信じられています。